ちふれグループ全製品（化粧品・ヘアケア・化粧用具）

CFP算定報告書

2024.4.30

ちふれホールディングス株式会社

1. CFP算定の目的

ちふれグループでは、「お客様の知る権利を満たしたい」という考えを往古来今持ち続けております。化粧品の成分や分量の表示は、法令で定められる前からはじめましたが、その他に、お客様にお伝えできることは何だろうか、と考え、「化粧品を使うと、その原料調達から、廃棄するまで、どのくらいの二酸化炭素を排出するのか」を示すカーボンフットプリントではないか、との結論に至りました。当社のCFP自主算定は、他の製品の数値と比較するためではなく、ちふれグループ内において、将来の温室効果ガス排出量を減らすための指標としたり、より正確に算定をする土台としたりすることを目的としております。

2. 製品のライフサイクルと使用したシナリオ

製品種別

ちふれグループが対象期間内に工場出荷したちふれグループの全製品
※容量などの概要は、各ブランドサイト(本報告書P.4参照)に記載

算定単位

ちふれグループが対象期間内に工場出荷した各製品の重量

カットオフ基準

・データの収集ができず、妥当なシナリオが設定できない場合
・工程内で重量比が計5%以下の負荷
・人力による作業
・責任の所在が顧客側にある輸送・廃棄物処理

システム境界とライフサイクルフロー

原料の調達段階

原材料を採取し、輸送して工場に納品されるまでの排出

製造段階

工場で製造する際の排出

輸送段階

製品を保管する倉庫から小売店に配送し、お客様が購入されるまでの排出

使用段階

顔を洗う際に使うお湯を沸かすための排出

廃棄段階

お客様が容器を廃棄する際の排出

3. データ情報

原料の調達段階

(1)原材料の生産・輸送プロセス
(2)包材原料の生産・輸送プロセス
　原料・輸送原単位

製造段階

(1)製品の製造プロセス
　電力使用原単位
　ガス使用原単位
(2)生産段階で生じた廃棄物の輸送・廃棄処理プロセス
　廃棄物の輸送・処理原単位

輸送段階

(1)工場から店舗・小売店センター・顧客までの輸送プロセス
　トンキロ法
(2)小売店センターから各小売店までの輸送プロセス
　トンキロ法
(3)倉庫での保管・梱包作業プロセス

小売時の販売・廃棄物輸送・処理プロセスは責任のプロセスが第三者にあり、妥当なシナリオの設定が難しく、カットオフとする。

使用段階

(1)クレンジング・洗顔プロセス
　電気・ガス使用原単位
(2)シャンプー・リンス・コンディショナープロセス
　電気・ガス使用原単位

廃棄段階

容器・包材・紙箱の廃棄物輸送・処理プロセス
廃棄物の輸送・処理原単位

4. 算定結果

容量や詳細も含めて算定結果は以下のブランドサイトの各商品紹介ページ内に記載しております。

ブランド名	トップページURL
ちふれ	https://www.chifure.co.jp/
綾花(潤肌実含む)	https://www.ayaka-ch.jp/
HIKARIMIRAI	https://www.hikarimirai.jp/
do organic(WA by do organic含む)	https://www.japanorganic.co.jp/doorganic/
do natural	https://www.japanorganic.co.jp/donatural/

ちふれブランドサイトにおける自主算定値の表示例

(「ちふれ 泡洗顔」の場合) https://www.chifure.co.jp/products/facewash/2586

【パソコンの画面】

【スマートフォンの画面】

5. 調査の限界と将来性

算定における
課題点・
不確実性

・データ取得が困難な場合にシナリオを設定

販売および販売時の廃棄物輸送・処理プロセスの算定	妥当なシナリオが難しく、カットオフしている。
使用時の排出	・社内実験結果による。 ・電気とガスの比率は二次データによる。

今後の
モニタリング・
再算定の
考え方

・シナリオの設定による算定をしていた部分は、
今後、取得が可能になった際は実測値を使用

・原材料の調達において、現在は一部のサプライヤからのみ
1次データをいただいているが、今後は実測値を使う割合を増やす

ISO14067:2018を援用して自社で算定ルールを作成

使用した活動量/原単位は以下に記載
・算定手順書

使用した原単位は以下から取得
・IDEA Ver.3.1
・環境省排出原単位データベース Ver.3.3

シナリオ策定時の二次データ
・環境省「令和2年度家庭部門のCO2排出実態統計調査資料編（確報値）」